

# けやき 歯科診療所 通信

## (平成 30 年 7 月)



(新宿区の木：けやき)

今回の通信は、現在診療に来られている先生方にひとことお願い致しました。

### 三輪 全三 先生 [小児歯科専門医指導医・障害者歯科認定医]

東京医科歯科大学の小児歯科に在籍中（現在定年退職後 4 年目）から、こちらの診療所のお手伝いをさせて頂き、もう 36 年目となります。当時 4 歳だった患者さんが、今 40 歳になりますが、定期的に通院されていたことで口腔内の健康状態も良く、定期診査の重要性を実感しています。新宿区歯科医師会の先生と連携を持ち患者さんの治療を進めています。

障害の有無にかかわらず、歯科治療が困難だと思われたお子さんがいましたら、どうぞご依頼ください。「ノーマライゼーション」とは、健常児と同じ方法で治療することではなく、治療結果を同等にすることと考えるなら、行動変容法、抑制法、笑気吸入鎮静法、静脈内鎮静法、全身麻酔法など、患者さんそれぞれに最も適した行動調節法を適用してあげることによりよい治療結果を得ることができます。



### 加藤 乃梨子 先生 [かとう歯科医院(高田馬場) 院長]

新宿区歯科医師会の出向により、私がけやき歯科で働くのは約 1 年経過しました。

けやき歯科に来る患者さんは鎮静や全身麻酔下にて治療することが多くあります。

意思の疎通が上手くできない方は、歯科ユニットに座ってもらうまでが結構大変で奥村先生を始め麻酔科の先生、衛生士さん、看護師さんの流れるような、無駄のないチームプレーで治療できる状態にしてくれます。私は歯科治療するだけなので本当に素晴らしいといつも感銘します。月 1 回と少ないですが、微力ながら頑張りますので宜しくお願い致します。



### 栗原 信人 先生 [新宿区歯科医師会 理事]

今から、20 年前に研修会でお世話になっていた矢崎先生から「栗原君は障害者歯科に興味はないかい？」と聞かれ、ちょうど学校医をしていた落合第二小に特別支援学級があったこともあり、「はい。」と返事。それから、けやき歯科診療所にお世話になっています。

治療に協力できる軽度の障害のある子は、自分の医院で診ています。しかし、治療を理解できない子、恐怖心の強い子、身体を思い通りに動かせない子などは、けやき歯科診療所で診てもらっています。

麻酔専門医の先生に、全身麻酔、または、静脈鎮静法を行ってもらい、その間に治療を行います。

けやき歯科診療所は、西早稲田から大塚に移動しましたが、新宿区の障害者歯科治療の施設です。

新宿区内からも、山手線で 10 分程度の距離です。先生方も治療が困難な障害のある患者さんは、けやき歯科診療所にご紹介ください。